

# 令和2年度第3回市政モニターアンケート結果

## テーマ 「動物愛護に係る意識調査について」

- (1) 対象 市政モニター 106人  
(2) 回答者数 100人  
(3) 実施期間 令和2年10月29日(木)から11月27日(金)まで  
(4) 目的 令和元年6月に「動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年法律第105号)」の改正がなされ、動物虐待の罰則強化、動物取扱業における適正飼養の促進等が定められました。また、本市では、猫に起因する糞尿や繁殖の課題解決等のため、平成30年4月から「相模原市人と猫との共生社会支援事業」を見直し、野良猫の不妊去勢手術の助成や猫の相談会及び譲渡会を実施しているほか、犬のしつけ方教室等を開催するなど、人と動物の共生する社会の実現に向けた取組を行っています。本市の動物愛護管理行政について市民の皆様の意識を把握し、今後の動物愛護管理行政のさらなる推進を図ることを目的として、アンケート調査を実施しました。

表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

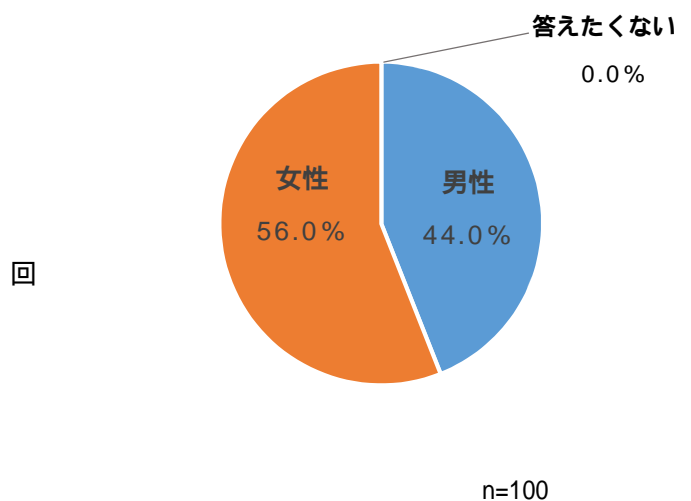
### 【基本的項目についてお伺いします。】

#### 【問1】 あなたの性別をお伺いします。(回答は1つ)

1 男性                                      2 女性                                      3 答えたくない

選択肢	回答数	回答分布
男性	44	44.0%
女性	56	56.0%
答えたくない	0	0.0%
計	100	100.0%

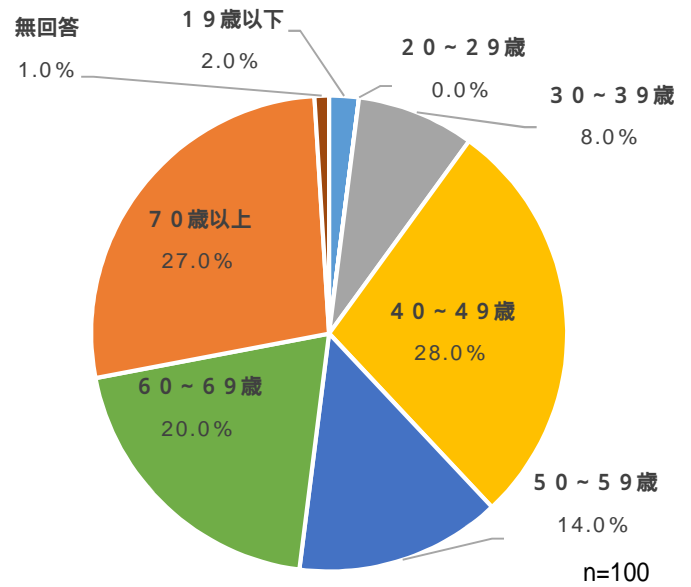
回答された方の性別は以上のとおりです。



**【問2】 あなたの年齢をお伺いします。（回答は1つ）**

1	19歳以下	2	20～29歳	3	30～39歳	4	40～49歳
5	50～59歳	6	60～69歳	7	70歳以上		

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	2	2.0%
20～29歳	0	0.0%
30～39歳	8	8.0%
40～49歳	28	28.0%
50～59歳	14	14.0%
60～69歳	20	20.0%
70歳以上	27	27.0%
無回答	1	1.0%
計	100	100.0%

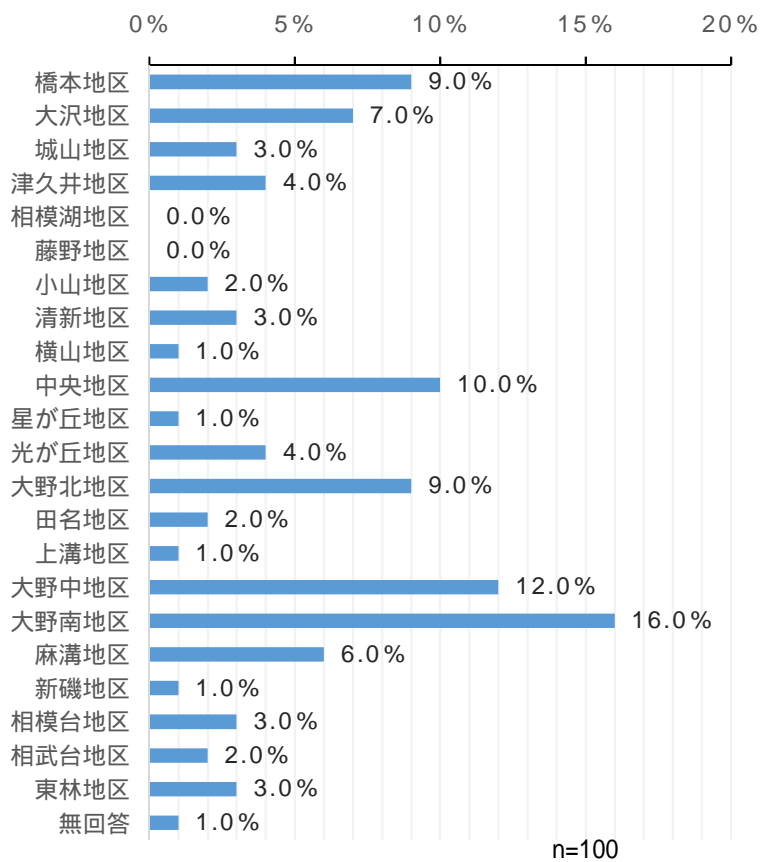


回答された方の年齢層は以上のとおりです。

【問3】 あなたのお住まいの地区をお伺いします。（回答は1つ）

《緑区》 1 橋本 2 大沢 3 城山 4 津久井 5 相模湖 6 藤野  
 《中央区》 7 小山 8 清新 9 横山 10 中央 11 星が丘 12 光が丘 13 大野北 14 田名 15 上溝  
 《南区》 16 大野中 17 大野南 18 麻溝 19 新磯 20 相模台 21 相武台 22 東林

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	9	9.0%
大沢地区	7	7.0%
城山地区	3	3.0%
津久井地区	4	4.0%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	0	0.0%
小山地区	2	2.0%
清新地区	3	3.0%
横山地区	1	1.0%
中央地区	10	10.0%
星が丘地区	1	1.0%
光が丘地区	4	4.0%
大野北地区	9	9.0%
田名地区	2	2.0%
上溝地区	1	1.0%
大野中地区	12	12.0%
大野南地区	16	16.0%
麻溝地区	6	6.0%
新磯地区	1	1.0%
相模台地区	3	3.0%
相武台地区	2	2.0%
東林地区	3	3.0%
無回答	1	1.0%
計	100	100.0%

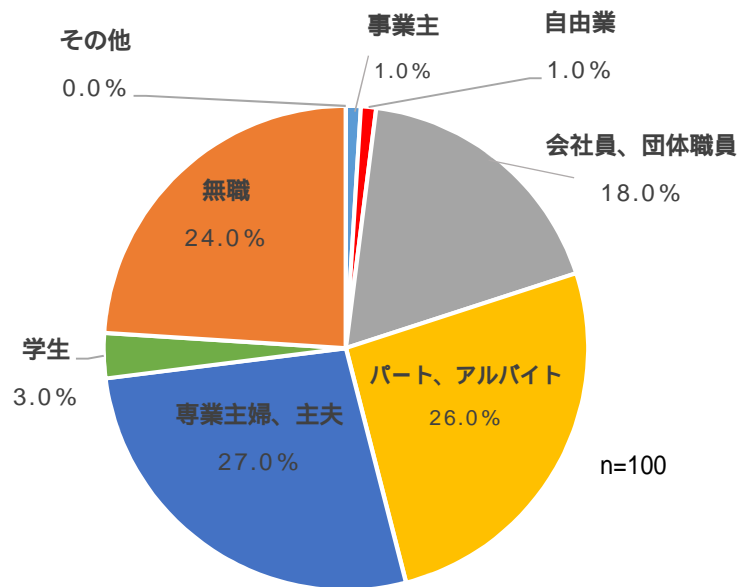


回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

**【問4】 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)**

1 事業主	2 自由業	3 会社員、団体職員	4 パート、アルバイト
5 専業主婦、主夫	6 学生	7 無職	8 その他

選択肢	回答数	回答分布
事業主	1	1.0%
自由業	1	1.0%
会社員、団体職員	18	18.0%
パート、アルバイト	26	26.0%
専業主婦、主夫	27	27.0%
学生	3	3.0%
無職	24	24.0%
その他	0	0.0%
計	100	100.0%

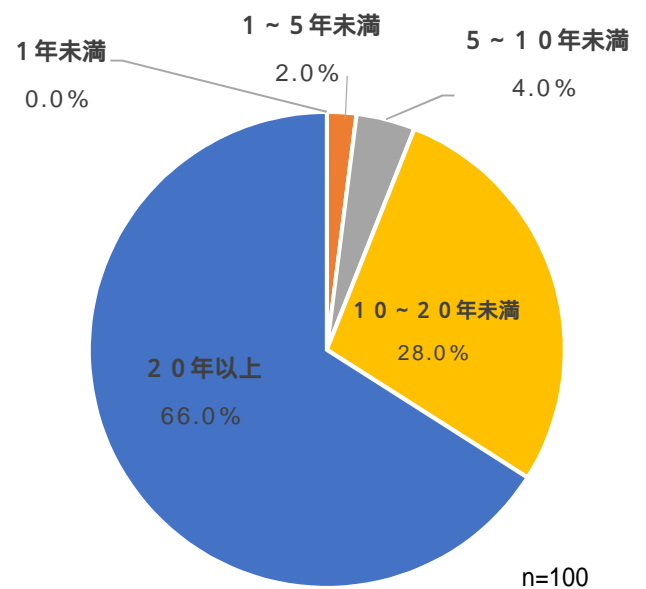


回答された方の職業は以上のとおりです。

**【問5】 あなたは相模原市に住んで何年になりますか。(回答は1つ)**

1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満	5 20年以上
--------	----------	-----------	------------	---------

選択肢	回答数	回答分布
1年未満	0	0.0%
1～5年未満	2	2.0%
5～10年未満	4	4.0%
10～20年未満	28	28.0%
20年以上	66	66.0%
計	100	100.0%



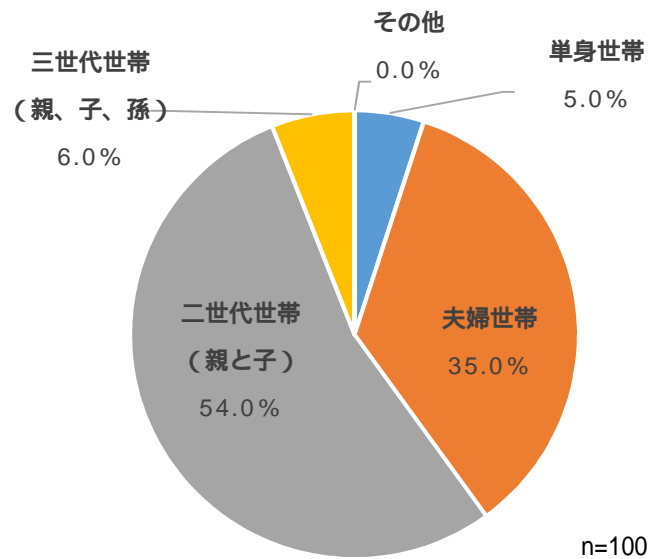
回答された方の居住年数は以上のとおりです。

**【問6】 あなたの家族構成をお伺いします。(回答は1つ)**

- 1 単身世帯 2 夫婦世帯 3 二世代会世帯(親と子) 4 三世代会世帯(親、子、孫) 5 その他

選択肢	回答数	回答分布
単身世帯	5	5.0%
夫婦世帯	35	35.0%
二世代会世帯(親と子)	54	54.0%
三世代会世帯(親、子、孫)	6	6.0%
その他	0	0%
計	100	100.0%

回答された方の家族構成は以上のとおりです。



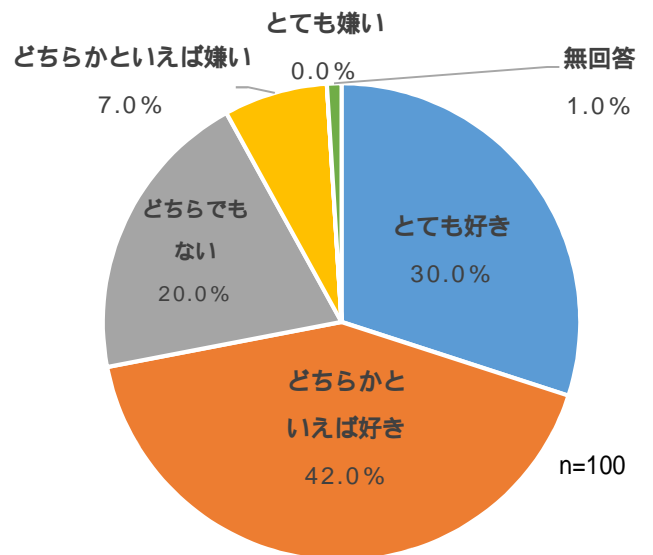
**【本市動物愛護管理事業についてお伺いします】**

**【問7】 あなたは動物が好きですか。(回答は1つ)**

- 1 とても好き  
2 どちらかといえば好き  
3 どちらでもない  
4 どちらかといえば嫌い  
5 とても嫌い

選択肢	回答数	回答分布
とても好き	30	30.0%
どちらかといえば好き	42	42.0%
どちらでもない	20	20.0%
どちらかといえば嫌い	7	7.0%
とても嫌い	0	0.0%
無回答	1	1.0%
計	100	100.0%

回答状況は以上のとおりです。



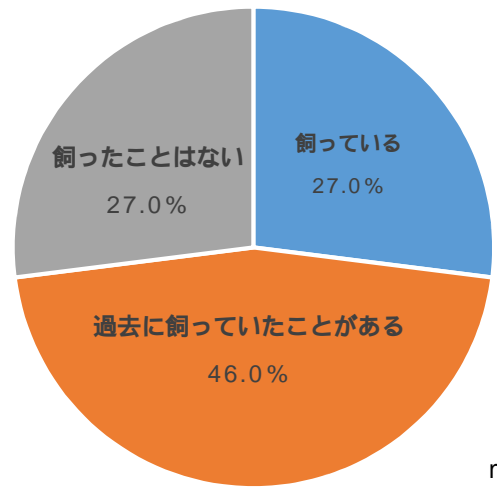
**【問8】 あなたはペットを飼っていますか。(回答は1つ)**

- 1 飼っている
- 2 過去に飼っていたことがある
- 3 飼ったことはない

回答状況は以上のとおりです。

選択肢	回答数	回答分布
飼っている	27	27.0%
過去に飼っていたことがある	46	46.0%
飼ったことはない	27	27.0%
計	100	100.0%

回答状況は以上のとおりです。



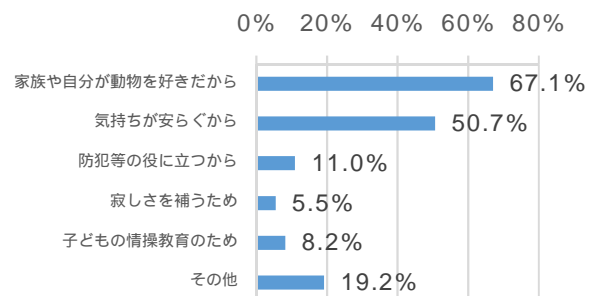
n=100

問8で「1 飼っている」もしくは「2 過去に飼っていたことがある」と回答した方へお伺いします

**【問9】 ペットを飼っている、飼っていた理由は何ですか。(回答は複数可)**

- 1 家族や自分が動物を好きだから
- 2 気持ちが安らぐから
- 3 防犯等の役に立つから
- 4 寂しさを補うため
- 5 子どもの情操教育のため
- 6 その他 ( )

選択肢	回答数	回答分布
家族や自分が動物を好きだから	49	67.1%
気持ちが安らぐから	37	50.7%
防犯等の役に立つから	8	11.0%
寂しさを補うため	4	5.5%
子どもの情操教育のため	6	8.2%
その他	14	19.2%



n=73

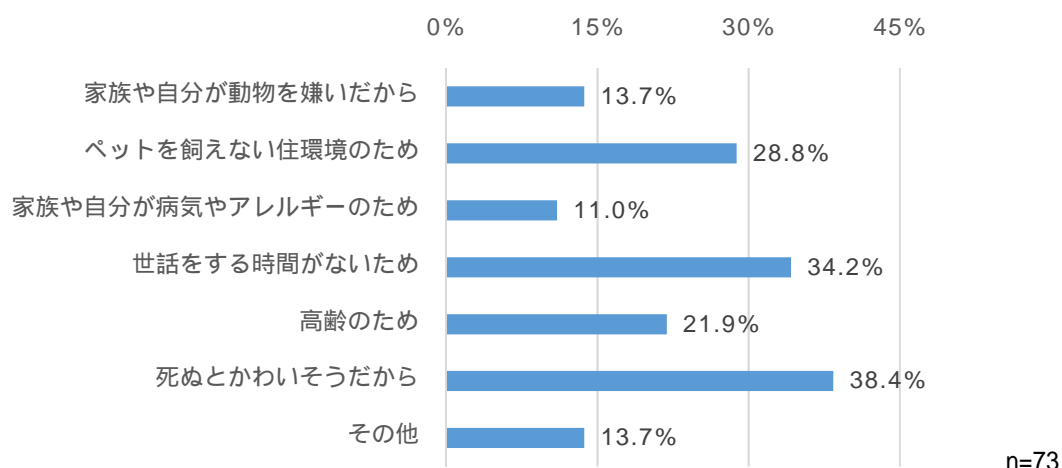
「家族や自分が動物を好きだから」が67.1%、次いで「気持ちが安らぐから」が50.7%という結果になりました。その他には、「家族や知人にもらったのを機に飼い始めた」、「家族間のコミュニケーションのため」、「捨て猫に温かい家庭が必要だから」などの回答がありました。

問8で「2 過去に飼っていたことがある」もしくは「3 飼ったことはない」と回答した方へお伺いします

【問10】 現在、ペットを飼っていない理由は何ですか。(回答は複数可)

- 1 家族や自分が動物を嫌いだから
- 2 ペットを飼えない住環境のため
- 3 家族や自分が病気やアレルギーのため
- 4 世話をする時間がないため
- 5 高齢のため
- 6 死ぬとかわいそうだから
- 7 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
家族や自分が動物を嫌いだから	10	13.7%
ペットを飼えない住環境のため	21	28.8%
家族や自分が病気やアレルギーのため	8	11.0%
世話をする時間がないため	25	34.2%
高齢のため	16	21.9%
死ぬとかわいそうだから	28	38.4%
その他	10	13.7%



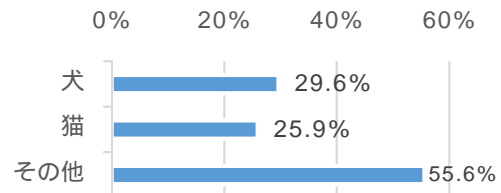
「死ぬとかわいそうだから」が38.4%、次いで「世話をする時間がないため」が34.2%、「ペットを飼えない住環境のため」が28.8%という結果になりました。その他には、「ペットが嫌いな近所の人に迷惑をかけてしまう」、「ペットの世話をちゃんとできるか不安なため」、「お金がかかる」などの回答がありました。

問8で「1 飼っている」と回答した方へお伺いします

【問11】 飼っているペットの種類は何ですか。(回答は複数可)

- 1 犬
- 2 猫
- 3 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
犬	8	29.6%
猫	7	25.9%
その他	15	55.6%



n=27

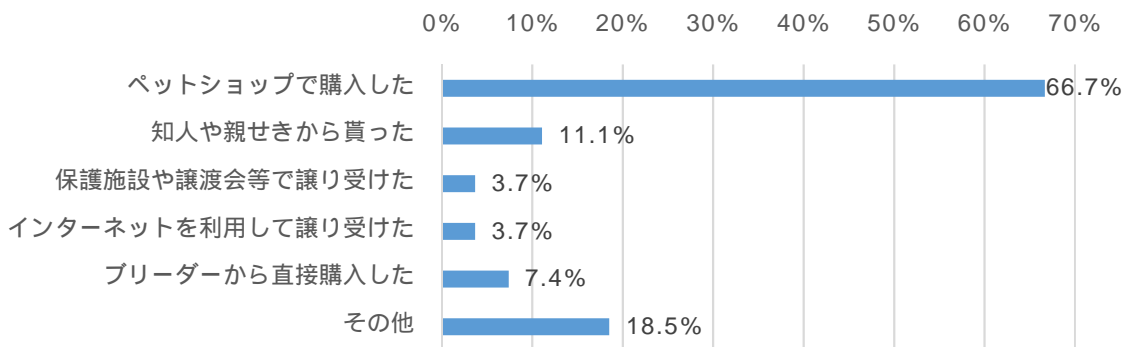
「その他」の犬猫以外が 55.6%、次いで「犬」が 29.6%、「猫」が 25.9%という結果になりました。その他には、「インコ」、「亀」、「うさぎ」、「金魚」などの回答がありました。

問8で「1 飼っている」と回答した方へお伺いします

【問12】 ペットはどこから迎え入れましたか。(回答は複数可)

- 1 ペットショップで購入した
- 2 知人や親せきから貰った
- 3 保護施設や譲渡会等で譲り受けた
- 4 インターネットを利用して譲り受けた
- 5 ブリーダーから直接購入した
- 6 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
ペットショップで購入した	18	66.7%
知人や親せきから貰った	3	11.1%
保護施設や譲渡会等で譲り受けた	1	3.7%
インターネットを利用して譲り受けた	1	3.7%
ブリーダーから直接購入した	2	7.4%
その他	5	18.5%



n=27

「ペットショップで購入した」が 66.7%、次いで「その他」が 18.5%、「知人や親せきからもらった」が 11.1%という結果になりました。その他には、「捨て猫」、「野良猫」、「夜店」などの回答がありました。

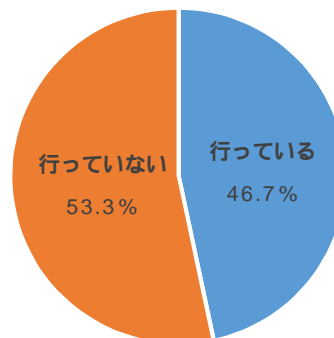


問11で「1 犬」もしくは「2 猫」と回答した方へお伺いします

【問13】 ペットの所有明示（飼い主の氏名や連絡先がわかるものを装着）を行っていますか。  
（回答は1つ）

- 1 行っている
- 2 行っていない

選択肢	回答数	回答分布
行っている	7	46.7%
行っていない	8	53.3%
計	15	100.0%



回答状況は以上のとおりです。

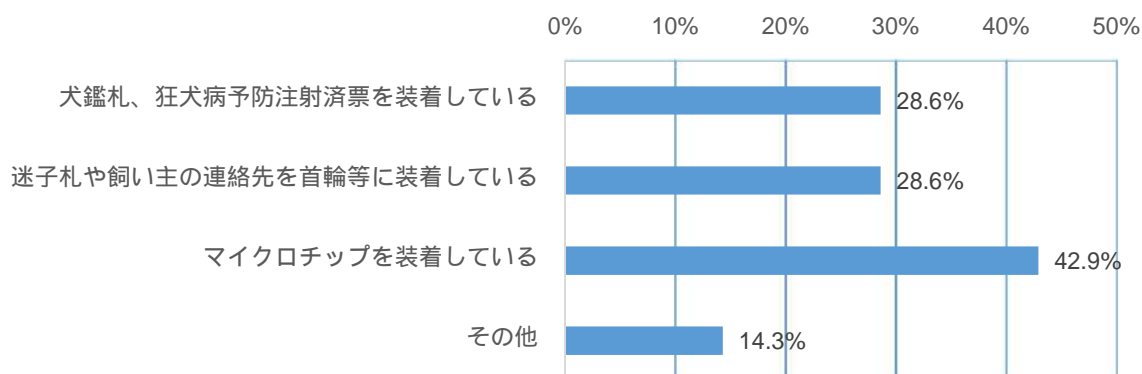
n=15

問13で「1 行っている」と回答した方へお伺いします

【問14】 所有明示をどのように行っていますか。（回答は複数可）

- 1 犬鑑札、狂犬病予防注射済票を装着している
- 2 迷子札や飼い主の連絡先を首輪等に装着している
- 3 マイクロチップを装着している
- 4 その他

選択肢	回答数	回答分布
犬鑑札、狂犬病予防注射済票を装着している	2	28.6%
迷子札や飼い主の連絡先を首輪等に装着している	2	28.6%
マイクロチップを装着している	3	42.9%
その他	1	14.3%



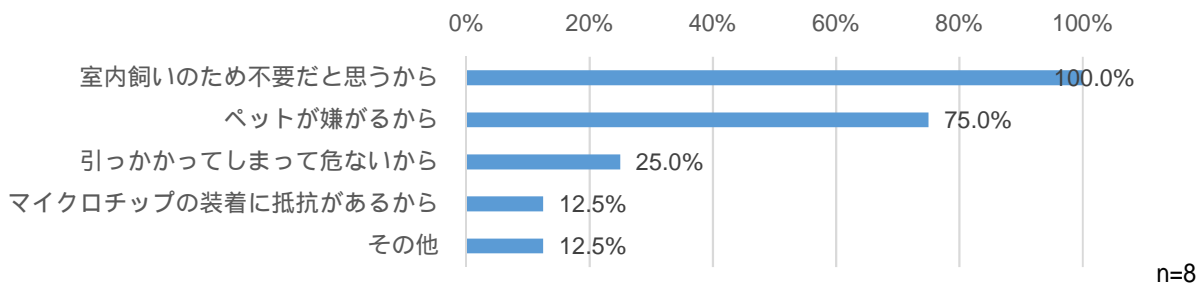
回答状況は以上のとおりです。

n=7

**【問15】 所有明示を行っていない理由はなんですか。(回答は複数可)**

- |                      |
|----------------------|
| 1 室内飼いのため不要だと思うから    |
| 2 ペットが嫌がるから          |
| 3 引っかかってしまって危ないから    |
| 4 マイクロチップの装着に抵抗があるから |
| 5 その他                |

選択肢	回答数	回答分布
室内飼いのため不要だと思うから	8	100.0%
ペットが嫌がるから	6	75.0%
引っかかってしまって危ないから	2	25.0%
マイクロチップの装着に抵抗があるから	1	12.5%
その他	1	12.5%



回答状況は以上のとおりです。

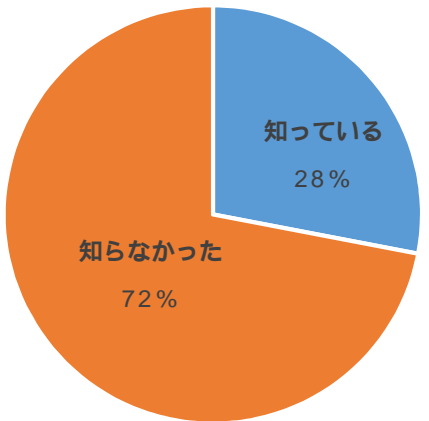
**全ての方へお伺いします**

**【問16】 市の風水害時避難場所へは、ペットを連れて避難することができることを知っていますか。(回答は1つ)**

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 知っている | 2 知らなかった |
|---------|----------|

選択肢	回答数	回答分布
知っている	28	28.0%
知らなかった	72	72.0%
計	100	100.0%

回答状況は以上のとおりです。

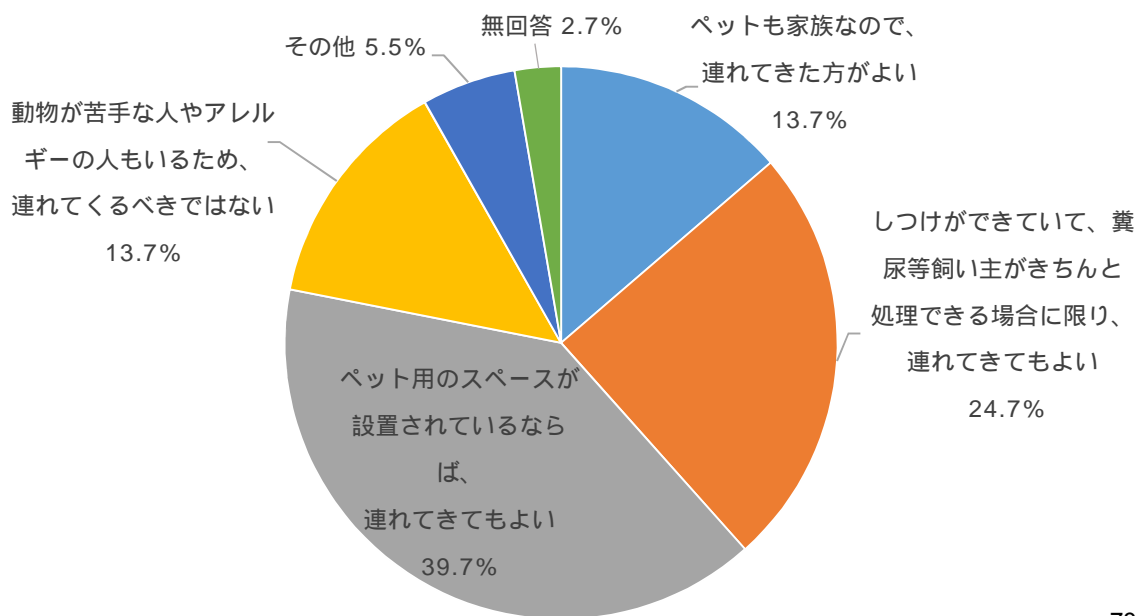


問8で「2 過去に飼っていたことがある」もしくは「3 飼ったことはない」と回答した方へお伺いします

【問17】 災害時、ペットの飼い主が避難所等に連れてくることについて、どう考えますか。(回答は一番近いものを1つ)

- 1 ペットも家族なので、連れてきた方がよい
- 2 しつけができていて、糞尿等飼い主がきちんと処理できる場合に限り、連れてきてもよい
- 3 ペット用のスペースが設置されているならば、連れてきてもよい
- 4 動物が苦手な人やアレルギーの人もあるため、連れてくるべきではない
- 5 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
ペットも家族なので、連れてきた方がよい	10	13.7%
しつけができていて、糞尿等飼い主がきちんと処理できる場合に限り、連れてきてもよい	18	24.7%
ペット用のスペースが設置されているならば、連れてきてもよい	29	39.7%
動物が苦手な人やアレルギーの人もあるため、連れてくるべきではない	10	13.7%
その他	4	5.5%
無回答	2	2.7%
計	73	100.0%



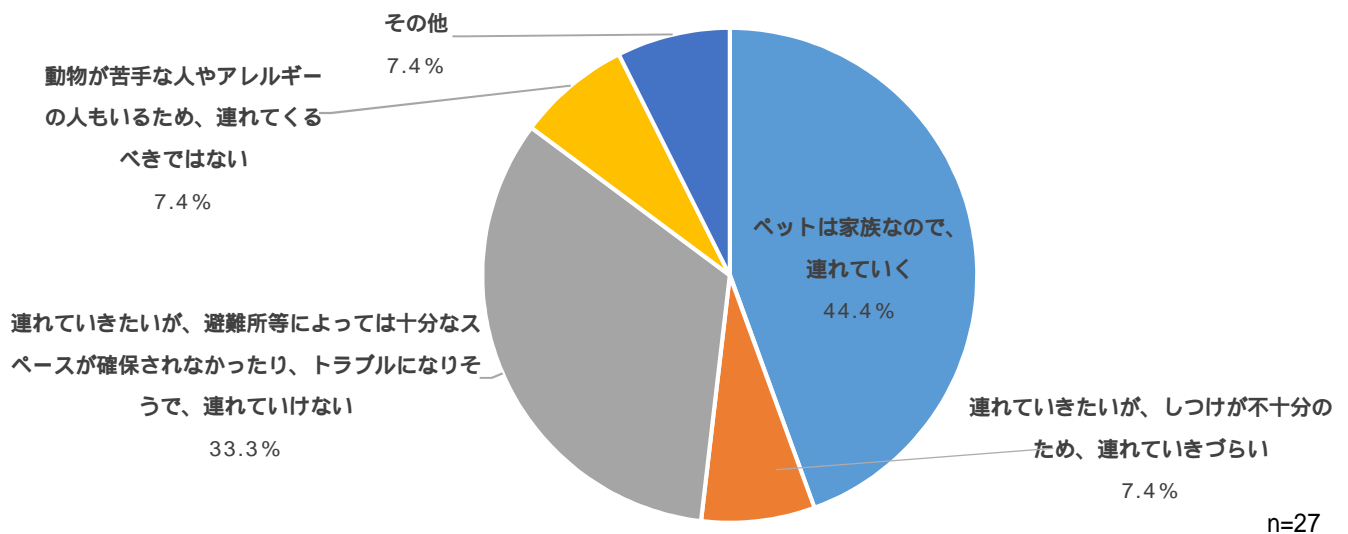
その他には、「放置されたペットによる生活環境の悪化や人への危害発生を防ぐために必要なら連れてきたほうが良い」「他人に迷惑がかからないよう、ペット専用の建物を設けて人間と完全分離してほしい。」などの回答がありました。

問8で「1 飼っている」と回答した方へお伺いします

【問18】 自身が被災してしまった際、ペットを避難所等に連れていくことについて、どう考えますか。(回答は一番近いものを1つ)

- 1 ペットは家族なので、連れていく
- 2 連れていきたいが、しつけが不十分のため、連れていきづらい
- 3 連れていきたいが、避難所等によっては十分なスペースが確保されなかったり、トラブルになりそうで、連れていけない
- 4 動物が苦手な人やアレルギーの人もいるため、連れていくべきではない
- 5 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
ペットは家族なので、連れていく	12	44.4%
連れていきたいが、しつけが不十分のため、連れていきづらい	2	7.4%
連れていきたいが、避難所等によっては十分なスペースが確保されなかったり、トラブルになりそうで、連れていけない	9	33.3%
動物が苦手な人やアレルギーの人もいるため、連れてくるべきではない	2	7.4%
その他	2	7.4%
計	27	100.0%



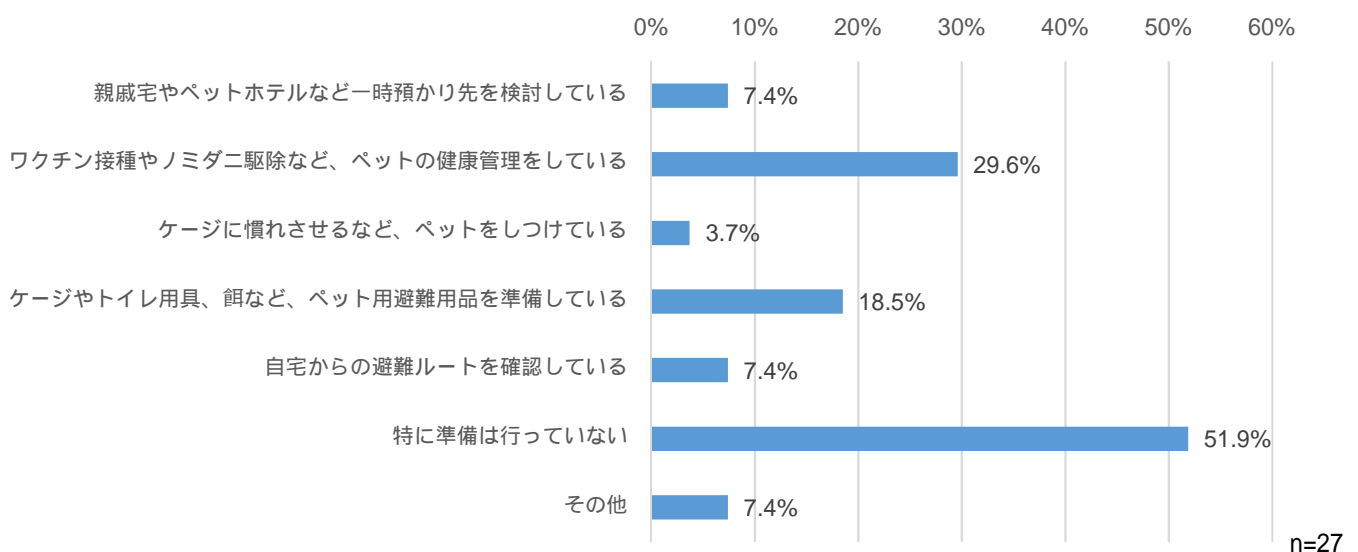
その他には、「家族だから一緒に連れて行きたいが、他の人のことを考えるとそうもいかないため、避難所のそばや車内など個人的なスペースで避難生活を考える。」などの回答がありました。

問8で「1 飼っている」と回答した方へお伺いします

【問19】 自身が被災してしまった際、ペットを連れて避難をするための、日ごろからどのような準備を行っていますか。(回答は複数可)

- 1 親戚宅やペットホテルなど一時預かり先を検討している
- 2 ワクチン接種やノミダニ駆除など、ペットの健康管理をしている
- 3 ケージに慣れさせるなど、ペットをしつけている
- 4 ケージやトイレ用具、餌など、ペット用避難用品を準備している
- 5 自宅からの避難ルートを確認している
- 6 特に準備は行っていない
- 7 その他

選択肢	回答数	回答分布
親戚宅やペットホテルなど一時預かり先を検討している	2	7.4%
ワクチン接種やノミダニ駆除など、ペットの健康管理をしている	8	29.6%
ケージに慣れさせるなど、ペットをしつけている	1	3.7%
ケージやトイレ用具、餌など、ペット用避難用品を準備している	5	18.5%
自宅からの避難ルートを確認している	2	7.4%
特に準備は行っていない	14	51.9%
その他	2	7.4%



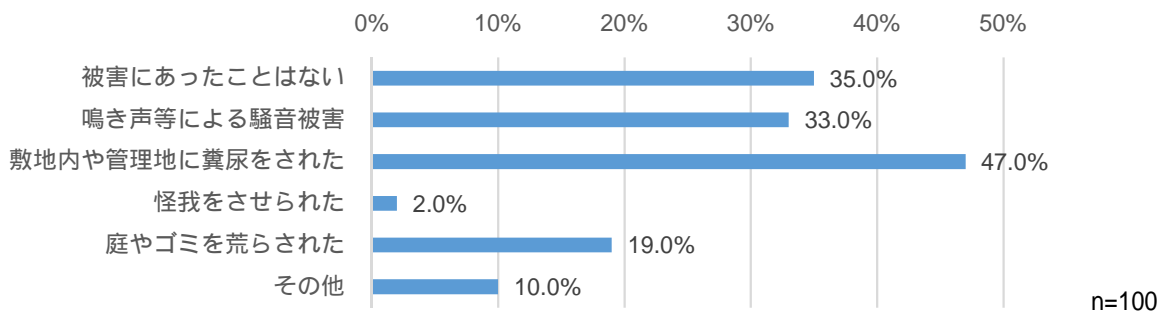
「特に準備は行っていない」が51.9%、次いで「ワクチン接種やノミダニ駆除など、ペットの健康管理をしている」が29.6%、「ケージやトイレ用具、餌など、ペット用避難用品を準備している」が18.5%という結果になりました。その他には、「インコを飼っており、エサや水、かごのカバーを準備している」「金魚を飼っており、大きな鳥に襲われないように網をかけている」などの回答がありました。

全ての方へお伺いします

【問20】 野良猫による被害、迷惑を受けたことはありますか。また、受けたことがある場合は、どのような被害でしたか。(回答は複数可)

- 1 被害にあったことはない
- 2 鳴き声等による騒音被害
- 3 敷地内や管理地に糞尿をされた
- 4 怪我をさせられた
- 5 庭やゴミを荒らされた
- 6 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
被害にあったことはない	35	35.0%
鳴き声等による騒音被害	33	33.0%
敷地内や管理地に糞尿をされた	47	47.0%
怪我をさせられた	2	2.0%
庭やゴミを荒らされた	19	19.0%
その他	10	10.0%



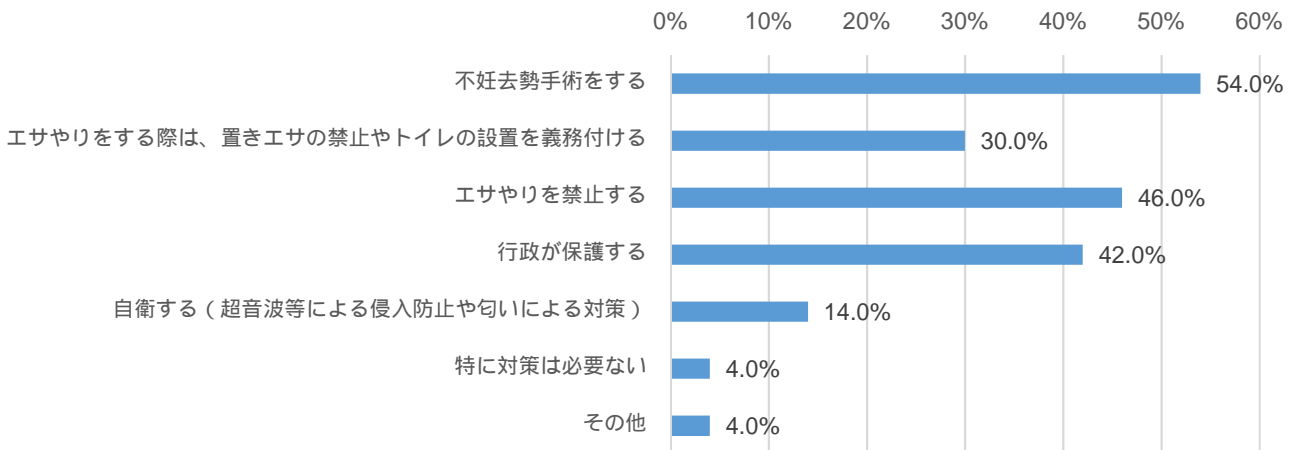
「敷地内や管理地に糞尿をされた」が47.0%、次いで「被害にあったことはない」が35.0%、「鳴き声等による騒音被害」が33.0%という結果になりました。その他には、「農園を荒らされた」「網戸を破られた」「猫同士のけんか」などの回答がありました。

全ての方へお伺いします

【問21】 野良猫に関する対策はどのようにすればよいと思いますか。(回答は複数可)

- 1 不妊去勢手術をする
- 2 エサやりをする際は、置きエサの禁止やトイレの設置を義務付ける
- 3 エサやりを禁止する
- 4 行政が保護する
- 5 自衛する(超音波等による侵入防止や匂いによる対策)
- 6 特に対策は必要ない
- 7 その他( )

選択肢	回答数	回答分布
不妊去勢手術をする	54	54.0%
エサやりをする際は、置きエサの禁止やトイレの設置を義務付ける	30	30.0%
エサやりを禁止する	46	46.0%
行政が保護する	42	42.0%
自衛する(超音波等による侵入防止や匂いによる対策)	14	14.0%
特に対策は必要ない	4	4.0%
その他	4	4.0%



「不妊去勢手術をする」が54.0%、次いで「エサやりを禁止する」が46.0%、「行政が保護する」が42.0%という結果になりました。その他には、「警察が捕獲する」「処分する」などの回答がありました。

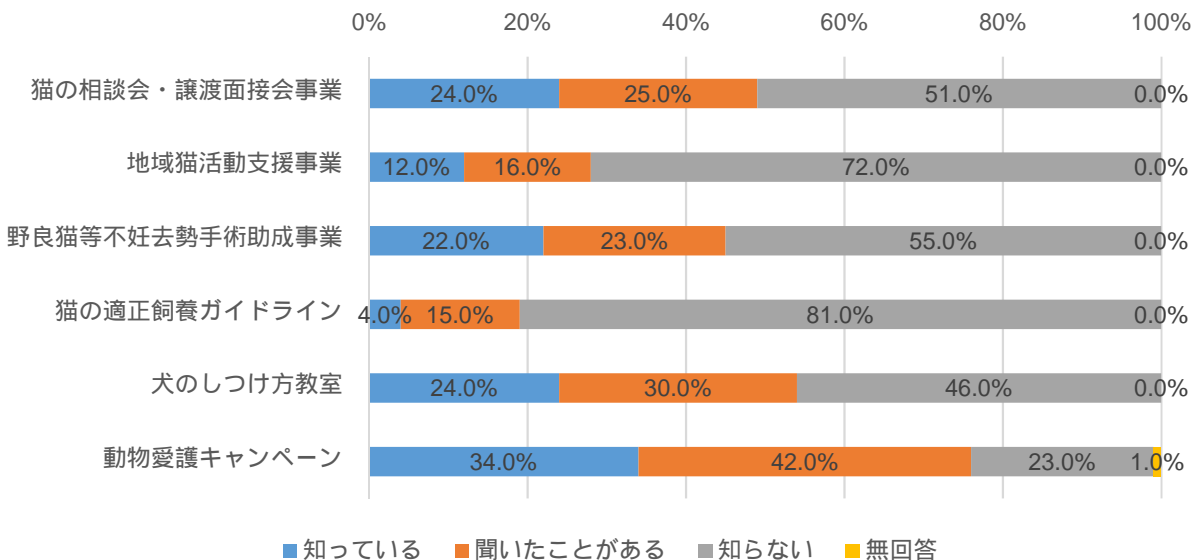
n=100

全ての方へお伺いします

【問22】 動物愛護に対する本市の事業についてお伺いします。(各項目いずれか1つ)

- 人と猫との共生社会支援事業
  - ・ 猫の相談会・譲渡面接会事業  
( 1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない )
  - ・ 地域猫活動支援事業  
( 1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない )
  - ・ 野良猫等不妊去勢手術助成事業  
( 1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない )
  - ・ 猫の適正飼養ガイドライン  
( 1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない )
- 犬のしつけ方教室  
( 1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない )
- 動物愛護キャンペーン  
( 1 知っている 2 聞いたことがある 3 知らない )

事業	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	計
猫の相談会・譲渡面接会事業	24 (24.0%)	25 (25.0%)	51 (51.0%)	0 (0.0%)	100
地域猫活動支援事業	12 (12.0%)	16 (16.0%)	72 (72.0%)	0 (0.0%)	100
野良猫等不妊去勢手術助成事業	22 (22.0%)	23 (23.0%)	55 (55.0%)	0 (0.0%)	100
猫の適正飼養ガイドライン	4 (4.0%)	15 (15.0%)	81 (81.0%)	0 (0.0%)	100
犬のしつけ方教室	24 (24.0%)	30 (30.0%)	46 (46.0%)	0 (0.0%)	100
動物愛護キャンペーン	34 (34.0%)	42 (42.0%)	23 (23.0%)	1 (1.0%)	100



「動物愛護キャンペーン」については、「聞いたことがある」が42.0%、「知っている」が34.0%と「知らない」の23.0%を上回りましたが、それ以外すべての項目で「知らない」と回答した方が最も多い結果となりました。

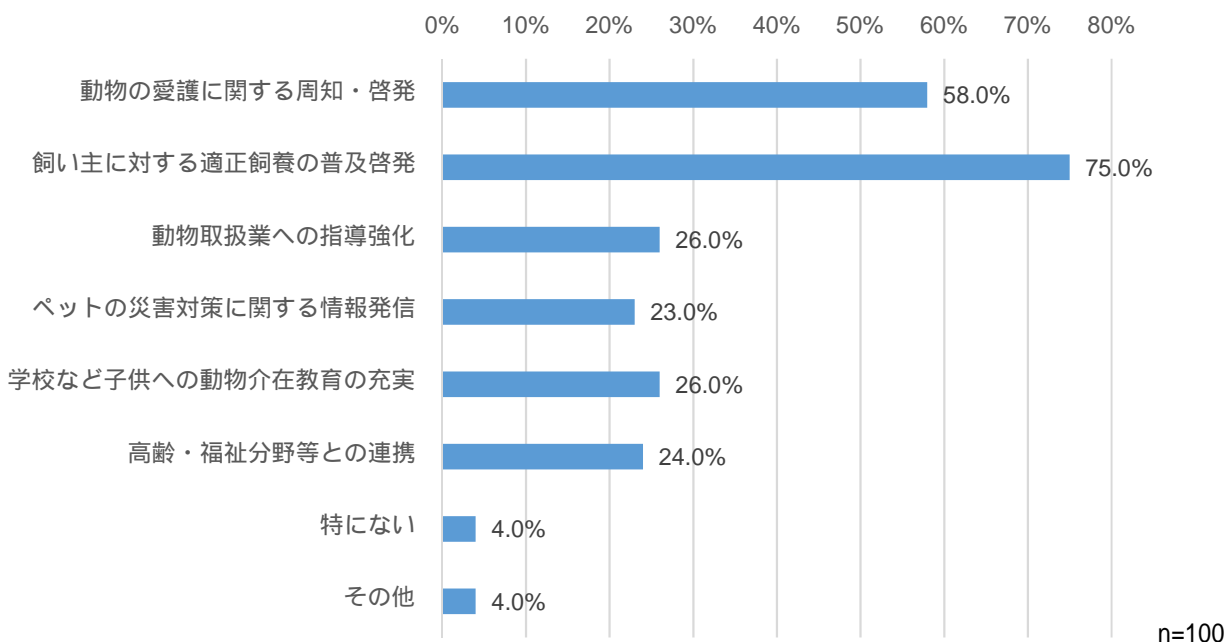


全ての方へお伺いします

【問23】 動物愛護管理行政の中で、人と動物の共生社会の実現のために今後より必要なことは何だ  
と  
思いますか。(回答は3つまで)

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 動物の愛護に関する周知・啓発              |
| 2 | 飼い主に対する適正飼養の普及啓発            |
| 3 | 動物取扱業（ペットショップ、トリミング等）への指導強化 |
| 4 | ペットの災害対策に関する情報発信            |
| 5 | 学校など子供への動物介在教育の充実           |
| 6 | 高齢・福祉分野等との連携                |
| 7 | 特にない                        |
| 8 | その他（            ）           |

選択肢	回答数	回答分布
動物の愛護に関する周知・啓発	58	58.0%
飼い主に対する適正飼養の普及啓発	75	75.0%
動物取扱業（ペットショップ、トリミング等）への指導強化	26	26.0%
ペットの災害対策に関する情報発信	23	23.0%
学校など子供への動物介在教育の充実	26	26.0%
高齢・福祉分野等との連携	24	24.0%
特にない	4	4.0%
その他	4	4.0%



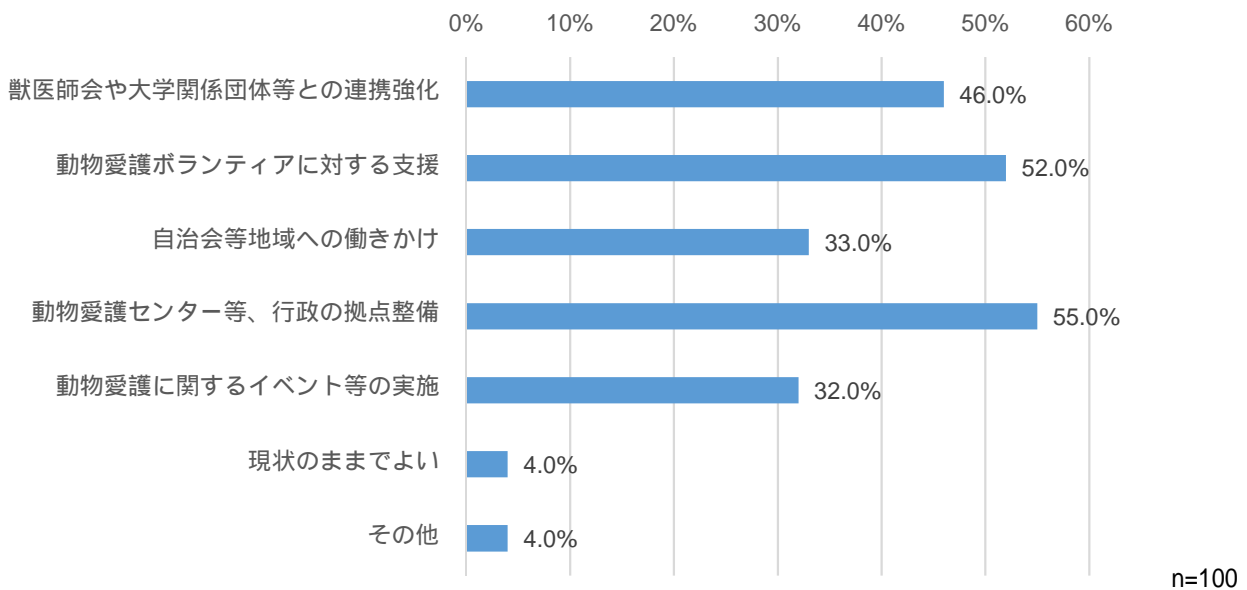
「飼い主に対する適正飼養の普及啓発」が75.0%、次いで「動物の愛護に関する周知・啓発」が58.0%、「動物取扱業（ペットショップ、トリミング等）への指導強化」と「学校など子供への動物介在教育の充実」が26.0%という結果になりました。その他には、「ペットを捨てる人の逮捕権限を市に与える」「ペット好きな住民の意見に沿うだけでなく、ペット飼育を不快に思う住民の意見をくみ取る行動を積極的に行うことが必要」などの回答がありました

全ての方へお伺いします

【問24】 動物愛護管理行政をより推進させるためには、どのような手段が有効だと思いますか。(回答は3つまで)

- |   |                    |
|---|--------------------|
| 1 | 獣医師会や大学関係団体等との連携強化 |
| 2 | 動物愛護ボランティアに対する支援   |
| 3 | 自治会等地域への働きかけ       |
| 4 | 動物愛護センター等、行政の拠点整備  |
| 5 | 動物愛護に関するイベント等の実施   |
| 6 | 現状のままでよい           |
| 7 | その他( )             |

選択肢	回答数	回答分布
獣医師会や大学関係団体等との連携強化	46	46.0%
動物愛護ボランティアに対する支援	52	52.0%
自治会等地域への働きかけ	33	33.0%
動物愛護センター等、行政の拠点整備	55	55.0%
動物愛護に関するイベント等の実施	32	32.0%
現状のままでよい	4	4.0%
その他	4	4.0%



「動物愛護センター等、行政の拠点整備」が 55.0%、次いで「動物愛護ボランティアに対する支援」が 52.0%、「獣医師会や大学関係団体等との連携強化」46.0%という結果になりました。その他には、「動物を飼うことに税をかける」「飼い主への飼い方の指導を繰り返し行う」「広報さがみはら等による啓蒙・周知が必要」などの回答がありました。

全ての方へお伺いします

【問25】 相模原市の動物愛護管理行政について、ご要望やご意見がありましたら、記入願います。

主な意見

- ・ 飼い主のマナー改善、適正飼養の指導を希望（10件）
- ・ 広報を活用し、市の取組を周知してほしい（6件）
- ・ 譲渡の推進、殺処分ゼロを希望（4件）
- ・ 動物愛護センターの設立希望（3件）
- ・ 野良犬、野良猫を見なくなった（3件）
- ・ 野良猫の管理を強化してほしい。（3件）
- ・ 子供への動物愛護の取組を強化してほしい（2件）
- ・ 飼育が困難な方への対策を実施してほしい（2件）
- ・ その他（5件）